

狭山市民謡協会 創立25周年記念「民謡の祭典」

8月22日(日)に狭山市民会館にて、市長さん他を迎え盛大に行われました。今年は合唱のみのコンクールで、入賞は次のとおり。

- ・優勝 孝也会 秩父音頭 ・2位 千寿会 秋田船方節 ・3位 てる義会 ホーホラホイ節
- ・4位 正晃会 津軽甚句 ・5位 旭謡会 三原やつさ ・6位 狭山はやちね会 北海大漁節
- ・7位 峰友会 斉太郎節 ・8位 花久会 出船音頭

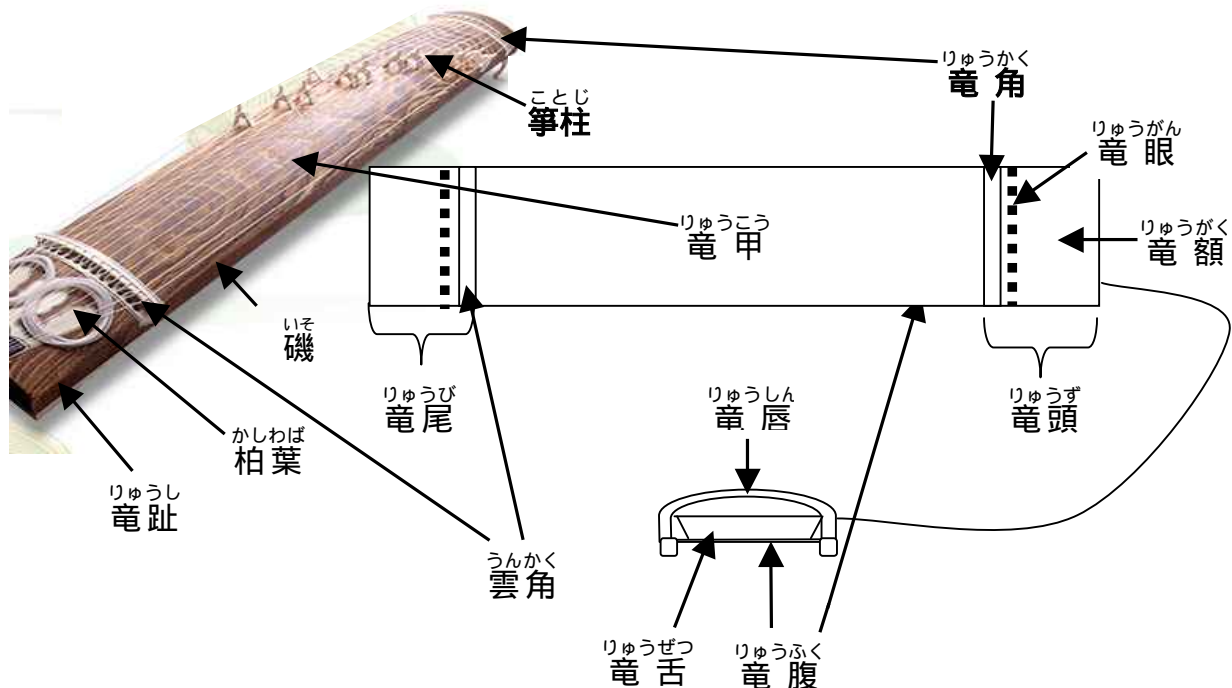
豆知識シリーズ(その12) 専門用語を一口で解説!

これで私も国際人? ~ 一夜漬けで覚えられる「箏(こと)」の知識(その2) ~

2. 楽器

桐で作られ13本の糸が張られています。昔は絹糸でしたが、現在はテトロンが多くなりました。箏全体を竜に見立てて各部分に名前がつけられています。中国では初め皇帝が使う貴重な楽器だったからです。龍は長い間、中国では皇帝を象徴する動物と考えられてきました。

竜甲と呼ばれる丸みをおびた部分と磯(いそ)と呼ばれる部分が一枚板で、それに底板が貼られ中は空洞になっております。



3. 音程

調絃と言ひ、適切な音の高さになるように箏柱(ことじ)をたてて13本の糸で一定の音階を作ります。糸には名前がついており、演奏者から一番遠い糸から一・二・三...九・十・斗(と)・為(い)・巾(きん)。基本的なものは「平調子」いわゆる陰音階で、この音階を編み出したのも八橋検校(やつはしけんぎょう)です。世界でも例のない独特の音階だったので日本的な感じを与えます。たりない音は、柱の左側の糸を左手で押して作ります。これを押し手と言いますが、押し加減によって一音や半音高くなります。正確な音程にするために、即座に耳で聞き取って微妙な押し加減を調節します。

(「弾きかた」の紹介以下は次号につづく)

(狭山市三曲連盟 横山美衣)